



「Art meets Life」をストアコンセプトに掲げる西武渋谷店。
 今回の「SHIBUYA CREATORS」では、今年注目の「ホワイト」をキーワードに
 国内外の気鋭のクリエイターによる、日本・渋谷のファッションやデザインをご提案いたします。



AKIRA NAKA
AKIRA NAKA 2017
Spring/Summer Collection
"Hybrid Nudie"

■ A館3階 キートゥースタイル
 スリッパとワンピースや、オリジナルレースなど、カッティングや素材の組み合わせによる、新しい透け感と軽さをデザイン。軽さと上質感を両立できるテキスタイルを用いた、肌をグラフィカルに演出できるアイテムが並んだコレクションが登場。



ナカ アキラ
 アメリカ滞在中にテラーと出会いデザインを始める。帰国後、2007年POESIEをスタート。09年からレーベル名をAKIRA NAKAに変更。テキスタイルの豊かさを強みとし、2016年からは"attitudeを身に纏う"をコンセプトにコレクションを展開。立体裁断による洗練されたシルエットのアイテムや、北欧と日本のハンドニット技術を掛け合わせたクチュールライクなニットを展開している。



YASUTOSHI EZUMI
3.14TUE-3.20MON
Yasutoshi Ezumi
2017 Spring&Summer
Collection

■ A館4階 ジャスティンモード

本コレクションのインスピレーションになったのは、建築家カルロ・スカルパ(Carlo Scarpa)の作品、コンセプト。その、多くの建築作品の大半が既存の建物の改修であった。「私の建築において、既存の建物が材料の一部になるのだ」。これは単純な修復という意味ではなく、むしろ創造的な改修、再生という意味を持っている。既存の服を材料の一部として、新たなものを加え、創造的な改修をするレスタウ口(修復・再生)された女性服。



江角泰俊
 1981年広島生まれ。ロンドン、セントラルセントマーティンズ美術学校ファッション&テキスタイル科卒業後、アレキサンダーマックイーンなどを経て2008年アクアスキュータムのニットウェアデザイナーを務める。帰国後はファッション、テキスタイルデザイナー/アートディレクターとして活動。2010年秋冬からファッションブランドYasutoshi Ezumiを立ち上げる。

doublet
 STRANGEST COMFORT

3.14TUE-3.27MON
ダブルット/ターク
2017 SPRING&SUMMER COLLECTION

■ B館4階 メンズクリエイター

"TWOO MUCH"をテーマに、刺繍やディテールなど過剰な装飾をもちいたデザインのダブルットと、ハバナを表現したタークの今シーズンの新作コレクションを期間限定で展開。



森川拓野(TAACK)
 文化服装学院卒業後、関イッセイミヤケ入社。ISSEY MIYAKE/ISSEY MIYAKE MENパリコレクションの企画デザイン担当を経て独立。2012年森川デザイン事務所を立ち上げ、自身のブランドTAACKを立ち上げる。

井野将之(doublet)
 言葉を変化させるように、ベーシックでスタンダードなアイテムの一部分を、唐突な別のアイテムに置き換えていき、見慣れているものを「違和感のある日常着」に変化させるというコンセプトのもと、ウェブからアクセサリまで幅広いアイテムを展開。



COATE
3.14TUE-3.20MON
COATE
2017 SPRING&SUMMER
COLLECTION

■ A館5階 プロモーションスペース

"HAVANA MODERN"をテーマに混沌とモダンを表現。ゆるくてルーズなシルエットたちをテープやベルトでボディに軽くフィットさせる。ドレープやラッフルのテクニックを大胆かつ自然に取り入れた、新しいクチュール×リアルを展開。

福屋千春(ふくやちはる)
 文化服装学院アパレルデザイン科を卒業の後、日本のオートクチュールの先駆けの一つである株式会社細野にて服作りを学ぶ。大手アパレルメーカーのデザイナーを経て独立、Fukuya Chiharu Designを設立。2015年COATEをスタート。

西武渋谷店

月・土 10:00 - 21:00
 日・祝 10:00 - 20:00